

子どもの居る場アーティストが行く意味

小学校や児童養護施設などでのワークショップの実践

6月18日(水)

18:30-20:00

C511階段教室

※昭和音楽大学より、
東京音楽大学と神戸女学院大学へ発信



ミュージック・コミュニケーション講座とは？

本講座は、将来、演奏家に限らず、どんな進路に進んでも、音楽大学で培ったものを活かしていけるための能力が身に付く、実践的な講座です。各界で活躍する講師を招き、社会で活躍するために必要なコミュニケーション力、社会性、リーダーシップ、そして柔軟な発想力などを磨きます。

授業はインターネット・ビデオ会議システムにより3大学をリアルタイムで結び、各大学の学生が同時に同じ授業を受講します。単に授業を受けるのではなく、特別講師の先生方や他大学の学生との質疑応答やディスカッション、時には身体を動かすワークショップなどを行い、「コミュニケーション」について実践的に学んでいきます。

講師:堤 康彦 (NPO法人 芸術家と子どもたち 代表)

1965年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。1987～97年、東京ガス(株)に勤務。その間に新設のホールやギャラリーでダンス・音楽・美術等のシリーズ企画をプロデュース。退社後、芸術普及NPOや大阪府立大型児童館の勤務を経て、99年より独立。現代芸術家を小学校等へ派遣しワークショップ型授業を実践する活動「エイジアス」をスタート。01年NPO法人化。03年「アサヒビール芸術賞」受賞。04年、東京都豊島区の廃校を拠点に、地域向けプロジェクト「ACTION！」を始動。08年、学校やホール等でワークショップを通じて子どもが主役の舞台作品を創作する活動「パフォーマンスキッズ・トーキョー」を東京都等と協働で開始。学校教育や児童福祉、まちづくり等の分野で子どもとアートに関わる事業を展開する。著書に、「子どもたちの想像力を育む アート教育の思想と実践」(共著/佐藤学・今井康雄編)、「子どもたちのコミュニケーションを育てる」(共著/秋田喜代美編)他。

インターネット・ビデオ
会議システムを使用して
3大学間を同時中継！
履修者以外の学生も
聴講できます！

